

小3国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読みとり 93.0%

ねらい：漢字の正しい読みができるかを問う。

分析と対策：漢字を覚えるときには、音読みと訓読み、送りがなを覚え、さらに、漢字の意味とその漢字を使った熟語も合わせて覚えましょう。

2 漢字の書きとり 73.0%

ねらい：漢字の正しい書きができるかを問う。

分析と対策：とめやはね、はらいに注意して、ていねいに書きましょう。部首もあわせて覚えると、より知識を深めることができます。

3 送りがな 75.0%

ねらい：漢字の送りがなの理解を問う。

分析と対策：送りがなのきまりとして、言葉の一部が変わるものは、ふつう変わる部分から送るのが原則です（例「帰る・帰らない」）。そのほかにいくつかルールがあるので覚えておくといでしょう。①「しい」で終わる形容詞は、「し」から送る。②「か・やか・らか」で終わる形容動詞は「か・やか・らか」から送る。③ほかの読み方と区別するために一つよけいに送る。送りがなは、漢字を覚えるときに合わせて覚えるよう心がけましょう。

4 こそあどことば 94.0%

ねらい：こそあどことばを正しく理解し、使い分けられるかを問う。

分析と対策：こそあどことばは、話し手や聞き手からのきよりによって、また、場所を指す場合、ものを指す場合、人を指す場合、様子を表す場合によって、使い分けをする必要があります。こそ

あどことばにどのような種類があるかを覚え、使い分けましょう。

5 詩と解説文の読みとり 54.3%

ねらい：詩の世界を感じながら、えがかれている内容の理解を問う。

分析と対策：この詩では、突然のどしゃぶりでかさを持っていなかった「ぼく」が、おじいさんに親切にもらったという出来事の情景と、その「やさしさのかさ」をだれかにバトンのように渡したいという「ぼく」の思いがえがかれています。解説文も活用して、詩の内容をとらえましょう。また(4)/(5)は表現技法に関する問題です。それぞれの表現技法にどのような効果があるのか、あわせて理解しましょう。

6 物語の読みとり 50.6%

ねらい：場面を想像し、登場人物の心情を読み取れるかを問う。

分析と対策：ゆいは、しろうくんのふでばこの中に空みたいなのがうかんているようにみえました。それは、じつはチョウのサナギがのっているキャベツだったことを知ります。しろうくんは、おばあちゃんがつくった竹ざいくのふでばこにチョウのサナギを入れていたのです。文章は、そのサナギのことをふたりで話している場面です。(3)(6)はしろうくんの様子や気持ちを読みとる問題、(7)はしろうくんの言葉に対するゆいの反応を読みとる問題です。登場人物の会話や行動を正しくおさえることが大切です。また、(8)は本文の内容に合うものを選ぶ問題です。それぞれの選択肢を本文全体とてらし合わせながらといていきましょう。

全体の平均点は64.8点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。